令和6年度第1回生駒市環境マネジメントシステム推進会議

【議事要旨】

日時:令和6年8月6日(火) 10:00~11:00

場所:生駒市たけまるホール1階 研修室1

1. 配布資料

- ・ 資料1:環境分野における審議会の運用の見直し
- ・ 資料2:生駒市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)
- ・ 資料3:令和5年度の取組状況について
- ・ 別紙1:市内の令和5年度の取組状況について
- ・ 別紙2:環境マネジメントシステムに係る職員のエコオフィス活動アンケート結果について

2. 出席者

区分	氏名
会長	矢田 千鶴子
副会長	落合 史生
委員	山口 昭夫
委員	松本 昌康
委員	梶邑 龍二
事務局	SDGs推進課長 木口 昌幸 SDGs推進課低炭素まちづくり推進係 係長 島田 奈穂 SDGs推進課低炭素まちづくり推進係 主査 堀 美穂

3. 議事録

(1) 開会	
(2) 令和6年度のスケジュールについて	
事務局	資料1について説明。
梶邑委員	環境マネジメントシステム推進会議が関与する範囲が減るというイメージか。
事務局	減るわけではない。それぞれの会議体の役割を整理させていただきたい。内容的な守備範囲は同じである。 今年が生駒市環境基本計画の中間見直しの年になっているので、監査の仕方も見直すタイミングなのではないかと考えている。 後ほど説明する昨年度の取組状況などをふまえ、委員の皆様からいただく意見や質問などを生駒市環境基本計画の素案の中に反映していきたい。
松本委員	スケジュールが例年より前倒しになっているが、この内容では評価が難しい。
矢田会長	今までは、環境マネジメントシステム推進会議が監査結果の報告書を生駒市に報告してきた。今回は監査報告書の内容を、生駒市の環境の状況として「生駒市の環境」にとりまとめることによって、環境審議会において審議できるという理解である。そういう方向に変換するという点について、ご理解いただけるか。

各委員	異議なし。
(3) 生駒市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)の令和 6 年度目標値について	
事務局	資料2について説明。
落合委員	事務事業編の対象は生駒市全体か。
事務局	あくまで生駒市の事務事業を対象としている。
矢田会長	事業者や市民などの数値についてはこちらでは述べられていない。これまで私たちは生駒市全体の温暖化対策を考えてきたので、落合委員がおっしゃったようなご発言が出たのだろう。環境マネジメントシステムのスタートラインのところを鑑みて、エコオフィスをどう作るかということの数値という理解でよろしいか。
事務局	そのとおりである。 この会議体は、環境分野全般について点検・調査することも役割として求められている。その部分については環境審議会でご意見をいただきたい。
松本委員	5、8 ページの温室効果ガスについてだが、これはどのように算出したのか？特にHFC(ハイドロフルオロカーボン)や SF ₆ (六ふっ化硫黄)については、全体の割合としては些少なもので、大きな問題ではないかもしれないが、廃棄するときに出ることが多いものなので気になった。
事務局	詳細については確認して改めてご報告したい。
山口委員	目標の中に、各市民団体の取組や計画は含まれているのか。
事務局	そのとおりである。この削減目標の設定の中に反映されている。
梶邑委員	9 ページの温室効果ガス排出量の削減目標について、2025 年の排ガス規制に伴って原動機付き自転車の生産がなくなるはずだが、それは反映されているのか。また、市に国からの情報はきちんと入ってくるのか。
事務局	国からは多くの情報が入ってくるが、それを一つ一つ環境への影響を考慮して計画に落とし込むことは困難である。また、大きく増減があるようであれば、年度毎の目標をどう設定すべきか検討することとしたい。
矢田会長	削減目標が 3%ずつ刻まれているということについて、途中で情勢変化などがあれば、また検討されるということである。次年度以降については暫定値ということよろしいか。
各委員	異議なし。
(4) 令和 5 年度の取組状況について	
事務局	資料3、別紙1、別紙2について説明。
梶邑委員	いこま市民パワーの電力受給先の公共施設が減った理由について、もう一度説明いただきたい。
事務局	常時稼働している清掃センターのような工場や事業施設は、小売電気事業者にとって収益を上げることが困難である。令和 2~3 年度は電力受給状況がひっ迫し、全国的に電気の調達価格が跳ね上がったため、収益性の低い施設への供給を停止せざるを

	得なかったという経緯がある。
松本委員	6 ページ目の no.37 について、11 路線で環境基準を超えているのに引き続き測定監視を行うとあるだけで、何ら対策されていない。これでは評価できないと思うがいかがか。
事務局	各委員から出された疑問点は、事務局で確認させていただき、改めて報告する。
松本委員	また、職員アンケートについて、回答率が低くてびっくりしている。対象数が少なすぎて評価できない。昨年度とあまり状況が変わっていない。
矢田会長	同感である。
落合委員	8 ページ目の no.62 について、自治会館に太陽光パネルを設置することは難しい問題だと思う。長年自治会長が続く地域は議題に上がりやすいが、年 1 回交代するところではなかなか話題になりにくい。市役所との関係性が重要になってくると思う。
事務局	ここに記載しているのは、自治会が自前で設置した場合に、費用の一部を補助するという制度である。 私たちが今推進している脱炭素先行地域事業の太陽光パネル設置は、令和 9 年度までに設置可能な自治会館については全て設置することを目標にしており、こちらは自治会の持ち出し費用がかからない。
矢田会長	温暖化のことは市民の皆さんはよく理解されている。しかし、先ほどの自治会長の代替わりなどの話があったように、各自治会長にだけ説明をしても、自治会組織としての合意形成がうまくいかない可能性もある。
落合委員	市と住民のパイプは自治会になるとは思うが、もっと環境ボランティアのような普及してくれる人手を増やすなど、何か形にできないかと思う。
事務局	ボランティアに協力いただくなどの対応は引き続き考えていきたい。
落合委員	11 ページ no.88 について、ピアッツァの利用状況はどうか。市民にはどのくらい利用されているのか。
事務局	確認する。
(5)その他	
事務局	今後のスケジュールについて説明。
(6) 閉会	

以 上